

「緑の募金」街頭キャンペーン



四月十五日、森づくりや（五月十四日）の開始に合  
緑化推進の大切さについて わせ、今年も高松市の目抜  
普及・啓発を図るため、「み き通りである丸亀町商店街  
どりの月間」（四月十五日 の老番街ドーム広場におい  
て、平成二八年「緑の  
募金」街頭キャンペー  
ン（主催…公益法人か  
がわ水と緑の財団）が  
実施され、香川県副知  
事や高松ゆめ大使ら  
とともに香川所から  
も所長と調整官が参  
加、買い物客らに「緑



の募金」運動への協力を  
呼びかけました。募金に協  
力いただいた方にはマリー  
ゴールドやペチュニアなど  
の苗を配布、今年も短時間  
で多くの募金が寄せられま  
した。

四月二十二日、香川県中

部、丸亀市と坂出市の平野

部にまたがってそびえる飯

野山（二合目以上が国有林）

は、その美しいおむすび形

から讃岐富士として広く親

しまれ、年間四万七千人も

の登山者を集めています。

両市の観光協会では飯野山

の標高四二二mにあわせた

四月二二日を「讃岐富士の

日」と定め、平成二二年か

ら毎年この日に「里山まつ

飯野山 山開き



り」を開催しています。

本年も、登山口のある丸

亀市野外活動センターで、

午前九時からおよそ二〇〇

人の登山者を前に「山開き

式」が開催されました。県、

丸亀市長、坂出市長らとと

もに香川森林管理事務所長

も列席し「飯野山は国有林

として昔から大切に自然が

守られてきた日本の原風

景。今シーズンの飯野山登  
山の安全と賑わいを心から  
祈念します。」とあいさつ  
を行いました。

参加者は、僧侶の法螺貝  
による安全祈願のあと登山  
を開始。讃岐富士を一周す  
るようにつけられた登山道  
は傾斜もゆるやかなうえ、  
新緑や小鳥のさえずりの

中、瀬戸内海や豊かな田園  
風景、ため池など眼下に広  
がる美しい風景を楽しみな  
がら、それぞれ自分のペー  
スで頂上を目指しました。

薬師堂がある頂上では、  
護摩祈祷が行われ、好天に  
恵まれたこの日は九〇〇人  
もの人が里山歩きを満喫し  
ました。

## 高知大学とシンポジウムを共催



四月二五日に、シンポジウム「最先端科学から見る未来の森林管理最前線」を高知大学物部キャンパスで開催しました。

このシンポジウムは、四国森林管理局が国有林の森林管理の現状と課題を、高知大学がこれらの課題に対する最新の研究を発表する形式で行うことで、森林管理への理解を深化するとともに、相互の情報共有や

材育成、研究等における連携を目的としており、高知大学、四国森林管理局、森林総合研究所四国支所、高知県森林技術センター等が

大学、四国森林管理局、森林総合研究所四国支所、高知県森林技術センター等が

知県森林技術センター等が

ら約九〇名の参加となりました。

シンポジウムの発表は、

針交混交林化、民間競争複

数年契約の取組、横断排水溝の開発と検証、ニホンジカ対策、新たな木質バイオマス利用についてと多岐に

わたりました。

また、参加者からは間伐

率と風倒被害の関係性や、

複数年契約の進行管理に係

る質問の他、各研究への評

価や今後への期待、提案が

なされるなど活発な意見交

換が行われました。



シンポジウムの発表に集まった参加者

## 各地のたより



### 愛媛大学との調整会議開催



五月一二日、愛媛大学において連携協定に基づく本年度の調整会議を協定者の愛媛大学農学部山田教授ほか関係者、局・署から中川技術普及課長、川畑署長ほか関係者が参加して開催しました。

この連携協定は、四国局と愛媛大学がそれぞれの人材や資源の活用を図りながら、持続的かつ安定的な材供給をはじめとする森林の有する多面的機能の持続的発揮、森林・林業の再生及び地域の振興に貢献できるように調査研究及び人材育成等の推進を図ることを目的に、平成二六年六月に締結したものです。

これまでに、連携協定締結記念シンポジウムの開催、愛媛大学演習林内での小型囲いわなの設置にかか

る現地検討会の開催、研究発表データの解析協力などを行い、昨年度は学生に対して林野庁の業務内容等の

講義や国有林の現地説明会

を二回開催するとともに、

インターンシップの受入を

はじめとした人材交流等を

進めています。

調整会議では、本年度に

連携する取組である①古事

の森での森林ボランティア

活動、②三回生全員に対す

る現地説明会の開催、③国

有林への研究フィールドの

提供等について打合せを行

いました。

当署では局技術普及課と

共に、今後とも愛媛大学と

密接に情報交換を行いなが

ら連携していくこととして

います。

### 調整会議の状況



四月二十五日、松山市内の

ホテルにおいて、四国地区

木材市場連盟（会長・樋口

高良・（株）太平洋木材市場

社長）の第八九回定期総会

が開催されました。

総会には、連盟所属の役

職員二一名のほか、来賓と

して愛媛県から重松森林局

長等のほか、四国森林管理

局から田口森林整備部長、

愛媛森林管理署から川畑署

長等が出席しました。本年

度は全日本木材市場連盟か

ら市川英治会長が出席しま

した。

総会では、平成二八年度

事業計画及び予算案等が審

議され承認されました。引

き続き、全日本木材市場連

盟の立花事務局長より中央

情勢報告として、合法伐採

木材利用促進関連法案（議

員立法）の概要、CLTを

用いた建築物の一般的な設

計法等の制定状況等の説明

がありました。また、四国

各県の会員市場より最近の

市況動向や情勢等について

報告がなされ、有意義な意

見交換の場となりました。

最後に、今後二年間は愛

媛県が会長県を勤め、来年

度の総会は高知県で開催す

ることを決定しました。



愛媛森林管理署では、今

年度も地域連携推進等対策

として、森林保護員（GS

S）二名が五月二日より活

動を始めました。

森林保護員の業務は、石

鎚山系の林野巡視を基本と

して、入込利用者の多い成

就社々石鎚山や岩黒山々土

小屋々石鎚山など巡視ルー

トを設定しています。



挨拶する田口部長

また、具体的な活動内容としては、①山火事防止、自然保護等の様々な標識類の保全整備及び損傷の程度の把握等、②樹木の盗伐、植物の盗採等の違反の把握及び注意喚起、③林野火災や土砂流出等の森林被害の早期発見及び被害状況の把握、④区域内の林道、歩道及び工作物等の施設の保全状況の把握、応急措置等、⑤登山者のマナー向上のため、看板の制作・設置・入込者等の利用状況調査、チラシ、リーフレット、ゴミ



袋等の配布等の普及啓発活動、⑥各種施設等の点検清掃、等々多岐にわたっています。今年度についても、登山者や入込者の安全を第一に考えた標識類の整備等を進め、貴重な野生動植物の保護・保全のため、森林法及

び自然公園法等に基づく指導・注意喚起等を行い、登山者や入込者のマナー向上のため一層活躍されることと期待しています。



職場で実際に働くことで、職場の人々の仕事に打ち込む姿や仕事に対するこだわりや考え方を知ると共に、働くことの喜び、苦労や厳しさを体験し、働くことの意義を学ぶことが目的とのことでした。

四月二十日～二十二日の

三日間、西土佐中学校の職

場体験学習の一環として、

当センターを三年生が訪れました。

西土佐中学校では、例年

「職場体験学習」を実施しており、今回で一八年目になります。

ラス巻き作業の様子



一日目は、黒尊山国有林において、シカ食害防止のためにしているヘキサチューブが広葉樹の成長を圧迫し出したものは、ヘキサチューブを取り外し、ラス巻き（木の幹に網を巻く

こと。）に切り替える作業を行いました。

二日目には、黒尊山国有林内の親水公園において、シカ食害防止のために、

ネットです。ネットです。二年前に苗木を植えましたが、枯れたりして減ったので、ケ

ス巻き（木の幹に網を巻く

れたりして減ったので、ケ

シカの囲いワナ設置作業の様子



ヤキ・ヤマザクラ・イロハモミジの広葉樹ポット苗を補植してもらいました。その後、ヒノキの板・角材で、木工教室用の椅子を試作しました。

三日目には、滑床溪谷で滑床山開きの神事の見学、

この意味、方法を理解して体験をしても良かったです。これらの体験を通じて、仕事の大変さや苦勞を知ることができ、進路についても考える有意義な機会となったと考えています。

松野南小学校の小学生に対して木工教室の手伝いをしました。その後、滑床山国

海国立公園内にある滑床溪谷で、松野町等が主催する恒例の滑床山開きの神事が行われました。



この山開きには、地元の名が目黒緑の少年隊として出席しており、毎年、神事

今年、松野南小学校の全校児童六名が目黒緑の少年隊として出席しており、毎年、神事



木工クラフト製作の様子

